

**ダビデとアビガイルは、戦うキリストと戦う召会を予表する**

聖書：サムエル上 25:2-42. エペソ 5:25-27. 6:10-13.

啓 19:7-9, 11-21. ヘブル 6:19. 10:19-20. 13:13

- I. サムエル記上第 25 章 1 節後半から 44 節は、ダビデがナバルとアビガイルを対処したことの記録です：
- A. わたしたちはこの章で、ダビデをなだめることでのアビガイルの知恵を見ます——サムエル上 25:23-31。
  - B. ダビデはアビガイルの懇願に応じて、アビガイルを遣わしてダビデに会わせたエホバをほめたたえ、そしてダビデに血を流させることをやめさせた、またダビデ自身の手で自らのために報復することをやめさせたアビガイルをほめたたえました——サムエル上 25:32-35。
  - C. アビガイルの美しさと知恵はダビデを捕らえ、ダビデはナバルの死後、彼女を妻にしました。彼女は戦いにおける、ダビデの配偶者となりました——サムエル上 25:36-44。
- II. ダビデは、苦難のただ中で戦うキリストを予表しています——サムエル上 25:28：
- A. ダビデは、復活する前に地上で苦難の中にあった人としての主イエスを予表しています。ダビデの苦難は、強奪する敵を征服するためであり、また良き地、すなわち、神の建造のための立場を獲得するためでした——詩 69:1-9。
  - B. ダビデが神によって堅く立てられたことは、彼がペリシテ人に対して何度も勝利したことにおいて見られます。こういうわけで、ダビデは戦士であるキリストの予表です——サムエル下 5:17-25。
  - C. エホバは、わたしたちのために戦う戦士、またわたしたちのすべての敵に対して凱旋がいせんの中で勝ち誇る戦士であるので、わたしたちの凱旋また勝利です——出 17:8-16。
  - D. 詩篇第 110 篇 5 節から 6 節が啓示しているのは、キリストが王でありまた祭司であることに加えて、戦士であるということです：
    - 1. キリストは再来する時、彼の怒りの日に、最も偉大な勝利者となって、すべての諸国民に対して勝利し、王たちと敵の頭を打ち砕き、ご自身に反対するすべての者たちに対する裁きを執行します——詩 110:1-2, 5-6。
    - 2. 啓示録第 19 章 11 節から 14 節によれば、キリストは再来する時、戦う方です：

- a. 主は、反キリストと諸国民の軍隊に敵対して単独で戦うのではありません。
  - b. キリストは、ご自身の軍隊であるご自身の花嫁と共に来て、花嫁と共に反キリストと彼の軍隊に敵対して戦います——啓 19:7-9。
- E. 戦士であるキリストは、勝利のキリストです——ヨハネ 12:31. エペソ 4:8. ヘブル 2:14:
1. 勝利のキリストは彼の地上の務めにおいて、悪魔を打ち破り、悪魔のわざを破壊しました——マタイ 4:1-11. Iヨハネ 3:8。
  2. 勝利のキリストは彼の十字架において、この世の支配者を追い出し、悪魔を滅ぼし、支配たちや権威たちがはぎ取られるようにし、死を廃棄しました——ヨハネ 12:31. マタイ 27:51. ヘブル 2:14. コロサイ 2:15. IIテモテ 1:10。
  3. 勝利のキリストの復活は、彼が死に対して勝利を得ていることを宣言します——IIテモテ 2:8。
  4. 勝利のキリストは彼の昇天において、「とりこにされていた者たちをとりことして引いて行き」ました。彼はわたしたちをサタンの強奪する手から解放して、宇宙の最高の場所へともたらしめました——エペソ 2:6. 4:8。
  5. 勝利のキリストは、戦う将軍、戦士として、ご自身の軍隊と共に来て、ハルマゲドンで反キリストと、彼の下にいる王たちと、彼らの軍隊とに対して戦います——啓 19:11-21。
- III. アビガイルは、苦難のただ中で戦う召会を予表しています——サムエル上 25:2-42:
- A. サムエル記上第 25 章以降、アビガイルは常に、戦士であるダビデのそばにいて、彼の戦いにおいて彼に従いました——サムエル上 25:40-42:
1. アビガイルがダビデと結婚したことは、戦いのために軍隊に加わった召会を予表しています——エペソ 6:10-20。
  2. アビガイルは、神の王国のために苦難のただ中で戦う召会を予表しています——啓 1:9. 11:15. 12:10。
- B. アビガイルの予表は、わたしたちがキリストの苦難において彼と一である必要があることを描写しています——ピリピ 3:10. コロサイ 1:24. 啓 1:9:
1. キリストの苦しみは、二つの部類から成ります。一つは、贖いを成就するためのものであり、それはキリストご自身によって完成されました。もう一つは、召会を生み出し建造するためのものであり、それは使徒たちと信者たちによって、補い満たされる必要があります——コロサイ

1:24。

2. パウロがキリストの苦しみを神の執事職との関連で述べているという事実は、執事職が苦難を通してのみ遂行され得ることを示しています——コロサイ 1:25：

- a. もしわたしたちが神の執事職にあずかることを願うなら、苦しむ用意ができていなければなりません——啓 1:9. II コリント 1:3-6。
- b. 召会の奉仕に、あるいは務めにあずかる者たちはすべて、執事の苦しみにあずかる用意ができていなければなりません。この事が意味するのは、わたしたちが、自分の執事職を果たすのに必要とされる代価は何であれ、進んで支払わなければならないということです——II コリント 4:10-12. ヨハネ 12:24-26。

C. アビガイルの予表が描写しているのは、召会が主イエスと共に霊的戦いに加わるということです——エペソ 6:10-20：

1. 召会はキリストの配偶者、花嫁として、エペソ第 5 章 25 節から 27 節において啓示されています。この配偶者は、エペソ第 6 章 10 節から 13 節においては戦士、戦う者となっています：
  - a. エペソ第 5 章と第 6 章は、啓示録第 19 章において成就されます。
  - b. 勝利者たちの総合計は、花嫁となって、キリストの配偶者となります(啓 19:7-9)。この配偶者はキリストの軍隊となって、ハルマゲドンで反キリストを打ち破ります(11-21 節)。
2. 神の永遠の定められた御旨が成就されて、彼の心の願いが満たされなければならないだけでなく、神の敵が打ち破られなければなりません。召会はこのために戦士でなければなりません——エペソ 1:11. 3:9-11. 6:10-12。
3. 霊的戦いが必要とされるのは、サタンの意志が神の意志に敵対しているからです——マタイ 6:10. 7:21. イザヤ 14:12-14：
  - a. 霊的戦いは、神聖な意志とサタンの意志との衝突をその源としています。
  - b. 召会として、わたしたちの戦いは、サタンの意志を服従させ、神の敵を打ち破ることです——啓 12:11。
4. サタンは、キリストのからだである召会、すなわち、サタンとサタンの王国に敵対して戦う団体の戦士を恐れています——雅 6:10. エペソ 6:10-20。
5. キリストは、長年神の敵に敵対して戦ってきた者と結婚します——啓

19:7-9, 11-16。

6. キリストの花嫁を構成する勝利者たちは、神のすべての敵に敵対して戦い、彼らを打ち破って、神の王国をもたらします——啓 2:7, 11, 17, 26. 3:5, 12, 21. 11:15. 12:10。

IV. アビガイルの予表が描写しているのは、イエスのそしりを担い、營所の外に出て、イエスへと行く信者です——ヘブル 13:13:

A. わたしたちのクリスチャン生活には二つの面、すなわち、内側の面と外側の面があります——ヘブル 6:19-20. 13:13:

1. 内側の面は、シュラムの女によって予表されており、外側の面はアビガイルによって予表されています——雅 6:4, 10, 13. ヘブル 13:13。
2. 一方で、わたしたちは幕の内側に、すなわち、至聖所の中にいます。もう一方で、わたしたちは都の外、營所の外で、人々の前にいます——ヘブル 6:19-20. 13:13:
  - a. わたしたちは内側で、復活したキリストを享受し、外側でイエスに従って行きます——ヘブル 6:19. 13:13。
  - b. わたしたちは奥の間、すなわち、至聖所、ひそかな所で主に触れるとき、シュラムの女のようになることができます——ヘブル 10:19-20. 雅 1:4. 4:10. 6:13。
  - c. わたしたちは外側の生活において主のために証しし、主のために働くとき、アビガイルが荒野でダビデと共にさすらっているかのようです——サムエル上 25:40-42。

B. わたしたちは毎日、これら二つの面を経験することができます——ヘブル 6:19-20. 10:19-20. 13:13:

1. わたしたちはシュラムの女のように幕の内側にいて、至聖所の中で生活し、復活し栄光を現したキリストを享受します。わたしたちはまた、アビガイルのように營所の外にいて、この世の中で生活し、へりくだったイエスに従って行きます——ヘブル 6:19-20. 13:13。
2. わたしたちはシュラムの女とソロモンのように、象牙の宮殿の中にとどまって、内側では主と交わります。またアビガイルのように、ダビデに従って戦うことによって、また苦難を受けることによって、外側では生活し、働きます——詩 45:8. サムエル上 25:40-42。
3. わたしたちの内側にいる方は、復活したキリストであり、外側にいる方は、ナザレ人イエスです——啓 1:17-18. マタイ 2:23。
4. 内側で、わたしたちはひそかな所でシュラムの女の享受を持ちます。外

側で、わたしたちはアビガイルの公の生活を持ちます。

C. キリストにある信者は、幕の内側、交わりの奥の間から出て来るとき、十字架の道を取り、苦難を受けたイエスに従って行くことができます——ヘブル 6:19. 10:19-20. 13:13:

1. 幕の内側に入る者たちだけが、イエスのそしりを担い、營所の外に出て、イエスへと行くことができます——ヘブル 6:19. 10:19-20. 13:13。
2. わたしたちの中の復活したキリストが、わたしたちを導いて、苦難を受けたイエスに従って行かせます——ヘブル 13:13。
3. 主イエスは十字架の道を歩み、復活の中へと入りました。そして彼は今、彼のアビガイルであるわたしたちを導いて、十字架の道を取らせ、また彼に従って、彼のそしりを担い、營所の外に出て行くようにさせています——ヘブル 13:13。